



「浦和のさかえに 歴史をほこる」開校153年目、ポストコロナに向けて

大いちょう

令和 5年 4月10日
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 令和5年度 No. 1 048 (829) 2737

令和5年度のスタート ポストコロナの時代に向けて

校長 永山 誉

卒業式に満開を迎えた校庭の桜の木は、4月に入り、新緑へと姿を変えています。歴史と伝統を誇る高砂小学校の開校153年目となる令和5年度が、本日スタートしました。入学・進級おめでとうございます。

本年度本校は、162名（昨年4月比-23名）の新入生を迎え、児童数1,079名（昨年4月比+4名）、特別支援学級2学級、通常学級31学級、併せて「きこえとことばの教室」（通級指導教室）6教室でのスタートとなります。本年度も高砂小学校の教職員一同、子どもたちの健やかな成長のため、一人ひとりを大切にされた充実した教育活動の展開に努めてまいります。保護者の皆様、そして地域の皆様の本校教育への変わらぬ御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。（児童数は、4月6日学級数確定時現在）

さて、令和5年度は、いよいよポストコロナの時代に向けて歩みを始める年度となります。基本的な感染症対策を講じながら、いわゆるコロナ前の活動状況に工夫改善しながら近づけていきます。例えば、これまでの給食の在り方を見直し、給食のマナーを守りながら学年の実態に応じて徐々に班の形で給食を取るなどしていきませんが、このような給食の取り方は、新5年生以上の学年の児童しか経験していませんので、他の学年の児童は新鮮な感覚を覚えることでしょう。いずれにしても、子どもたちの健康を第一に考えながら、教育活動の目的を鑑み、活動の幅を広げていきたいと考えています。引き続き、新しい教育活動への御理解のほどお願い申し上げます。

ところで、「1年の計は元旦にあり」ということわざがあります。学校の年の初めは、4月であり、年の初めであるこの4月に今年の目標を決め計画を立てることが大切になります。また、「千里の行も一歩より起こる」ということわざもあります。この4月の1か月の間に、目標達成のための大切な一歩を踏み出すことができるよう、子どもたちの背中を後押ししていきたいと思えます。令和5年度のスタートにあたり、子どもたちには、新年度の目標に向かってチャレンジしようとする今の気持ちを大切に、様々なことに挑戦し高めていって欲しいと願っています。

本年度の高砂小学校の取組について

令和5年度、本校では、「**た**くましく **か**しこく **さ**わやかに 一個（**こ**）の確立と公（**こ**う）の発展をめざす子の育成—」を学校教育目標とし、次のような「職場訓」「校訓」「教師像」を大切に、「つなぎ いかすをテーマ」に特に重点とする事項を設定し、取り組んでまいります。

〈職場訓〉『共働共励、共に育つ』の精神を基に、自分の家族を通わせたい学校をつくる。

〈校訓〉「明るく 仲よく 進んで」

〈教師像〉「教育は『愛』を胸に実践する教職員」

【令和5年度の主な重点事項】 「つなぎ いかすをテーマに」

(1) 主体的・対話的で深い学びの実現のために

・タブレット端末の効果的な活用と学びの改革 ・各種調査の分析に基づく授業改善 ・さいたま STEAMS 教育の推進 他

(2) 心と体の成長に向けた安心安全な学校づくりのために

・いじめ防止対策の推進 ・人権教育と道徳教育の推進 ・心のサポート体制の充実 ・体力向上と健康に関する実践力の育成 他

(3) 教職員組織の充実のために

・学校課題研究を核とした学校運営の充実 ・働き方改革の推進（心の余裕の生まれる職場づくり） ・児童理解及び生徒指導体制の充実
・経験豊かな教師の指導技術、経験値の継承 他

(4) 地域との連携・協働の充実のために

・高砂小コミスク推進プランに基づく学校運営 ・ICTを活用した学校からの情報発信 他